

# ひとり親家庭の医療費助成制度 使いやすく改善されます

生活と健康を守る会の県連は、7月20日、大分県と交渉しました。事前に提出した37項目について県より文書回答があり10時半から3時半まで話し合いました。今回の一番の成果は、ひとり親家庭の医療費助成制度を改善すると回答があったことです。

## 立替払い必要ないように

ひとり親家庭の医療費助成制度は、18才までの子どもを持つ母子家庭父子家庭などの子どもと保護者の医療費を助成するものです。

今はいったん窓口で立て替え、手続きをすれば後で戻ってくるのですが、これを立て替え払いの必要がない現物給付にすべき、と長年求めてきました。

この件で「現物給付方式を実施する」つまり、窓口無料化にするという回答がこの日の交渉で初めて出たのです。

生健会も日本共産党も毎年毎年県に要望してきました。市議会でも粘り強くがんばり、市町村からも県に求めてきました。それがやっと実現するのです。



えんど久子市議も別府市の守る会副会長として参加し、多くの問題で発言しました。県下から参加した会員さんからも、実情を訴える発言がありました。

## 今年12月より実施したい

文書回答で「ひとり親家庭は、厳しい経済状況におかれていることが多く、仕事と子育ての両立による負担が大きい。これらの負担を軽減するため、また、子育て支援の観点から現物給付方式を実施する」とあります。

参加者の質問に答えて「市町村で9月議会

を目途に条例改正し、12月くらいを目途に県下の18市町村がいつせいにスタートしてもらおうよう協議しお願いしている」と答えました。

残るのは、重度障がい者医療費の窓口無料化です。今後力をお寄せががんばりましょう。

日本共産党別府市議団のHPやえんど久子のHP「はっぴーえんどどっとねっと」をぜひご覧下さい。別府市議会のHPでは市議会の録画や議事録が見られます。

日本共産党 別府市議団

げんきニュース

TEL・FAX 平野文活21-6749・えんど久子25-7630

発行責任者 平野文活  
別府市石垣西8-2-31  
TEL0977-22-6576

No.520  
2012. 8. 1.

# 市長に生の声を届け要望

## 住宅改修への補助を早く

### 全国533自治体で実施

7月30日、別府民主商工会と別府市生活と健康を守る会のみなさんが、

浜田博市長に「住宅リフォーム助成制度の早期実現をめざす申し入れ」を行いました。日本共産党の平野文活・えんど久子両市

議も同席し、11名が参加しました。

この制度は、住宅の改修をする市民に工事費の1/2割を市が補助する制度で、全国533自治体にひろがっています。

### 不況対策の特効薬

別府民商の小西忠事務

局長が、市民や業者が使いやすい制度を創設し、9月議会には予算を計上するよう求める申し入れ文を浜田市長に手渡ししました。小西事務局長は「多くの中小業者が仕事の確保に苦しんでいる。住宅リフォーム助成制度は不況対策の特効薬と言われており、一刻も早く実現していただきたい」

と求めました。

浜田市長は「前向きに検討すると約束して公約という形で上げさせてもらった。出来るだけ早い時期にやりたいと別府版というか別府オンリーの経済対策を考えている」と答えました。商工課長は「建設部とも調整しながらやっている」と話しました。



浜田市長と挟間商工課長（右手）に建設業の厳しい状況を訴える別府民主商工会や生活と健康を守る会のみなさん。

7. 30. 市長応接室にて

### 「新年度予算で」と市長

参加した工務店の方などは「リフォームしたいが踏み切れないお客さんが多い。補助があれば弾みがつく。実施時期がわかればお客さんに話しやすい」と訴えました。

浜田市長は「遅れていることはお詫びします。遅くとも年度内に制度の確立をしたい。新年度予算に盛り込めるよう指示している」と初めて実施時期を口にしました。平野・えんど両市議も「9月議会に予算を出せないのか」「利用しやすく多くの市内業者が受注できるように」と求めました。浜田市長は「どこよりも使いやすい制度にしたい。今以上に真剣に取り組みたい」と答えました。